

令和2年5月29日

保護者各位

みんなのとっぽこども園

園長 田中眞里子

非常事態宣言解除後の保育について

南の地方からは、梅雨入りの知らせが来る季節になりました。季節の移り変わりを感じる余裕もない晩春から初夏でした。

さて、宣言が発出されて以来、2か月近く保護者の皆様方に感染予防のため、ご家庭での保育にご協力をいただけてきました。宣言が解除され、元の生活に戻れるという実感はありませんが、信頼してもよいと思われるデータによると、子どもから子どもへの感染リスクは非常に低い。園での感染は基本大人からであり、家庭内での感染で、これまでは保育者を介して感染したという例は報告がないということも言われているなかで、6月より段階を踏んで平常の保育を目指していくことになります。

そこで、繰り返しにはなりますが、園では、3密のうち密閉については、部屋の換気・消毒・滅菌を常に行ってまいります。これから真夏に向かいますがエアコンを使いながらも常に換気に注意をしていきます。しかし、密集・密接は子どもの心身の育ちを支援する立場から省くことはできません。そこで、園から、いくつかご理解ご協力をいただかねばならないことがあります。

【登降園】

- *朝の検温と帰宅後の検温と体調を記録してください。風邪症状・下痢・だるいなど体調不良がある場合は、登園は控えてください。また、必ず症状とともに連絡してください。
- *登園できる基準は熱や風邪の症状が消滅してから24時間経過後とされています。
- *平常時に登降園が多い時間帯は、朝8時から9時。夕方は17時から18時をできるだけ避けて登降園をお願いいたします。保護者の方にとっては、保育者と話をする機会であり、保護者同士での情報交換の時間にもなりますが、近距離での会話や長時間の会話はおやめください。
- *保育室への入室はしばらくの間お控えください。子どもの受け渡しは保育室前で行います。また、必ずお一人送迎をしてください。
- *入り口で、手指の消毒を必ずしてください。
- *マスクの着用をお願いします。マスクをしていない場合咳など症状がある場合に入室をお断りすることをご承知ください。

【保育】

- *子どものマスク使用については、これからの季節、熱中症・取り違え・汚れたものを使用することなど大人と同じような取り扱いができないことを考慮し、保育中マスクをつけることを薦めません。また、必ず名前を書いてきてください。2歳児以下のマスク使用は窒息や誤飲につながるという報告もあります園ではつけないで保育を行います。
- *保育者は、必要に応じてマスクを外して保育を行います。
- *子どもたちの遊びは、これまでと大きく変えられるものではありませんが、園外保育（さんぽ）の機会を多くする。園庭やランチルームなど職員の配置をして常に密集を避ける工夫をします。
- *食事の時間の延長。一テーブルに座る人数を減らすなどをしていきます。
- *昼寝は、コットや布団の間隔を取って行います。また、昼寝をしない子どもは、保育室外で休息をとるようにします。
- *行事については、2か月を目安に実行・内容変更・延期・中止等の判断をお伝えするようにいたします。また、状況によっては、直前に変更のご案内をすることも考えられます。